

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 様々な地域行事に積極的に参加し、交流の幅が広い。地域とは、助けられたり、助けたりの「相互扶助」的な関係ができています。 実習生の受け入れや安全パトロール等、地域への貢献活動をさらに推し進め、地域に根を下ろした社会資源としての地盤を確立していただきたい。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年度初めに1年間の予定を組み、利用者、家族の出席のもとで開催されている。ホームからの報告事項に続き、事前に用意してある議題について討議しており、時間的な効率もいい。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政への対応は施設長の役割となっているが、併設の特養施設の施設長をも兼務することから、市・担当者の信頼も厚い。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の発言機会を公平に持とうとの考えから、年度の初めに運営推進会議への出席を全員に割り振っている。家族アンケートでは、意見・要望は情報伝達に関する事項のみで、多くは感謝の言葉や賛辞であった。 法人の発行する「ふれあい新聞」（年間4回発行）には、ホームのページが大きく割かれており、家族へ利用者の最新情報を提供している。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>規定通りの運営推進会議が開かれており、その時々テーマを事前に開示してあることから内容の濃い会議となっている。 家族の参加を年間予定に盛り込む等、家族にホーム運営への関心を持ってもらうことを推進する取り組みも秀逸。</p>

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。